

“食のバリューチェーン”の課題解決・販路拡大の情報が集う展示会！
『北海道アグリ・フードプロジェクト
イベント&カンファレンス 2019』
2019年は10月に開催決定。出展者募集中。

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2019年10月23日（水）～24日（木）の2日間、アクセスサッポロ（札幌市白石区）で、“食のバリューチェーン”の現場を支えるソリューションが集結する専門展示会「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2019」を開催します。

「北海道アグリ・フードプロジェクト」は、有識者による実行委員会（委員長：北海道大学 大学院農学研究院長 横田篤）が企画主体となり、2017年から毎年秋にイベント&カンファレンス事業を開催しています。前回(2018年度)は農業生産資材メーカーや食品メーカーなど178のブースが出展し、農業生産者をはじめとした食品に関わる全行程の関係者ら約8,000名が来場しました（同時開催展含む）。

第3回となる2019年は、降雪の心配も無く、旬の食材が豊富な10月に開催が決定し（過去2回は11月下旬）、例年以上の盛り上がり期待されるため、食品と飲料の展示商談会も併催します。今回、6つの出展エリアと4つの特設ゾーンをご用意し、出展者を募集します。

出展ブースの広さは出展エリアにより、約9㎡と、約6㎡の2種。

申込み締切は、出展料の割引がある2019年6月14日（金）の早期申込みと、2019年7月5日（金）の通常申込みの2段階。お申し込みはホームページ（<http://www.jma.or.jp/hafp/>）で受付。

◆開催概要 <http://www.jma.or.jp/hafp/>

展示会名：「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2019」

開催期間：2019年10月23日（水）～24日（木）9:30～16:00

会場：アクセスサッポロ

主催：一般社団法人日本能率協会

企画主体：北海道アグリ・フードプロジェクト実行委員会

（JAグループ北海道、北海道大学、小樽商科大学、北洋銀行、北海道銀行、北海道二十一世紀総合研究所、道銀地域総合研究所、北海道商工会議所連合会、北海道経済連合会、日本貿易機構(JETRO)北海道、北海道食産業総合振興機構、北海道新聞社、日本能率協会コンサルティング、日本能率協会）※順不同・2019年2月現在

出展規模：160社/200ブース（予定・同時開催展含む）

出展対象：生産、研究開発、加工、流通、販売の各現場の課題解決に役立つ製品・技術・サービス
 ※出展対象の詳細は次頁参照のこと。

来場者数：10,000名（予定・同時開催展含む）

来場対象：農業生産関係、流通関係、小売・店舗関係、メーカー関係、ホテル関係、官公庁、学生 ほか

同時開催：「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO 2019」

出展料金：約9㎡ブース単価：1～2ブース：230,000円（早期申込）/260,000円（通常申込）

※税抜表記 3～5ブース：207,000円（早期申込）/234,000円（通常申込）

6ブース以上：184,000円（早期申込）/208,000円（通常申込）

約6㎡ブース単価：全ブース共通：180,000円（早期申込）/210,000円（通常申込）

HOKKAIDO AGRIFOOD PROJECT 2019
北海道 イベント&カンファレンス 2019
アグリ・フードプロジェクト

■「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2019」出展対象について
“食のバリューチェーン”を構成する生産、研究開発、加工、流通、販売の各現場の課題解決(ソリューション)に役立つ製品・技術・サービスを全国から募集します。テーマに沿って6つの出展エリア、4つの特設ゾーンをご用意しています。

①【生産性向上エリア】

農業や酪農の「生産」現場の課題である高齢化や人手不足を解決する、省力化・合理化のための製品やサービスを集めたエリア。

トラクター・耕うん機・各種パーツ/栽培設備/環境制御機器・資材/収穫機器・資材
育苗・定植/作業衣料/除草・草刈機/除雪機 ほか

●特設ゾーン「省力化を実現するスマートアグリ」●

農業ドローン/自動走行・GPS/アシストスーツ/データ収集・解析機器・センサー
環境制御システム/AI・IoT/植物工場 ほか

●特設ゾーン「酪農経営の合理化・負担軽減技術」●

酪農・畜産用設備、技術/牛舎遠隔管理/飼育柵・ケージ/給餌器・給水器
搾乳システム/生乳温度管理/清掃機器 ほか

②【経営力強化エリア】

「生産」現場が抱える担い手不足、農作業や経営管理の効率化、販路の開拓など、
農業経営の様々な課題を解決するためのソフトやサービスを集めたエリア。

労務・作業管理ソフト/新規就農者募集支援/女性農業者サポート
外国人労働者受け入れ体制整備/農業支援コンサルティング/金融支援・相談窓口
EC(電子商取引)・販路開拓/省エネ・環境対策 ほか

●特設ゾーン「食の安全・安心対策」●

GAP 認証/HACCP による衛生管理/アニマルウェルフェア/種子条例対応
遺伝子組み換えやホルモン剤等の排除 ほか

③【営農リスク対策エリア】

台風や地震などの自然災害、鳥獣による被害、農機具・作物の盗難など、
「生産」現場のリスクを軽減する製品やサービスを集めたエリア。

ハウス・畜舎の補強/自家発電機/防災キット/家畜の伝染性疾病の発生予防
警報機・侵入防止システム/防鳥・防獣ネット・捕獲技術/防虫ネット・病害虫管理
忌避剤・駆除剤/共済・各種保険 ほか

④【品質・付加価値向上エリア】

高品質で付加価値の高い食品などを生み出す「研究開発」「加工」の現場に必要な
設備や素材、技術を集めたエリア

食品製造・加工機器/測定・試験機器/種子・種苗/土壌改良/活性剤・改良剤
6次産業化・ブランディング支援/研究開発段階の農業生産技術 ほか

⑤【鮮度保持・安定供給実現エリア】

「流通」の現場における配送コストや鮮度管理の課題を解決し、新鮮で安定的な供給を
実現するための機器やサービスを集めたエリア

選果・選別機器/包装機械・資材/冷却機器/貯蔵・保管設備/クリーンルーム
運搬車両・機能性台車/ピッキングシステム・コンベア・リフト/パレット・コンテナ
清掃資機材、衛生設備/店頭鮮度管理/パッケージデザイン/仕入・在庫管理システム ほか

⑥【フード&ドリンク北海道 展示商談会】 ★会場内での即売もOK！

旬の食材やこだわりの飲料の販路を拡大するために、国内外のバイヤーや飲食店のオーナーら、食品関係者に直接PRする展示商談エリア

道産食材(農作物、畜産物など)／道産飲料・酒類
全国ふるさと食材／加工食品・6次化製品／菓子・スイーツ／調味料
オーガニック・機能性食品 ほか



●特設ゾーン「水産コーナー」●

魚類(生鮮・冷凍)／貝類・甲殻類／水産加工品 ほか

■会場構成について

「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス」は、“食”を軸としたバリューチェーンをコンセプトに、農業や酪農の現場から食材が様々な行程を辿り販売されるまでに関わる全ての関係者が集う場となっています。各現場が抱える課題とその解決策をテーマ別に分けてブース配置することで、来場者が探している製品やサービスにアクセスしやすくなり、貴社ビジネスのPRも効率的に行える会場構成にしています。

また、同時開催の「観光・ホテル・外食産業展」は、“食のバリューチェーン”の出口(最終工程)にあたるフードサービス、ホスピタリティ産業を対象とした展示会となっており、会場全体で食の一連の流れを体感できる構成となっています。

【参考情報】

同時開催展「観光・ホテル・外食産業展 HOKKAIDO 2019」とは

日本能率協会は、北海道で唯一の、観光・ホテル・外食業界を対象とした専門展示会を開催しています。

北海道は食・自然・気候・文化など日本を誇る豊富な観光資源を有しています。国内での人気に加え、海外からのインバウンドも盛んな北海道で、観光をメインにした専門展示会を開催する運びとなりました。

宿泊施設や飲食店向けの設備、機材、備品、ソフトのほか、観光プロモーションや各種ツール、インフラ施設などが出展し、道内のホスピタリティ産業従事者や飲食店経営者らとの活発な商談を行います。

食を軸に生産からサービス産業までつながるバリューチェーン。

「北海道アグリ・フードプロジェクト イベント&カンファレンス 2019」との同時開催により、食に関わる来場者が2つの展示会を行き来することで相乗効果が生まれます。



【本件に関するお問い合わせ先】 北海道アグリ・フードプロジェクト事務局(担当:田中)

一般社団法人日本能率協会 KAIIKA 研究所内 TEL: 03-3434-0380

〒105-8522 東京都港区芝公園 3-1-22

※取材のお問合せは、広報室(TEL: 03-3434-8620、担当:斎藤・川村)へお願いいたします。